

# 気胸の最新治療＜胸腔鏡下手術＞

外科部長 中野 敬次



今回は、あまり聞き慣れませんが珍しくはない呼吸器の病気「気胸」の最新治療＜胸腔鏡下手術＞について解説致します。

## 気胸とは？

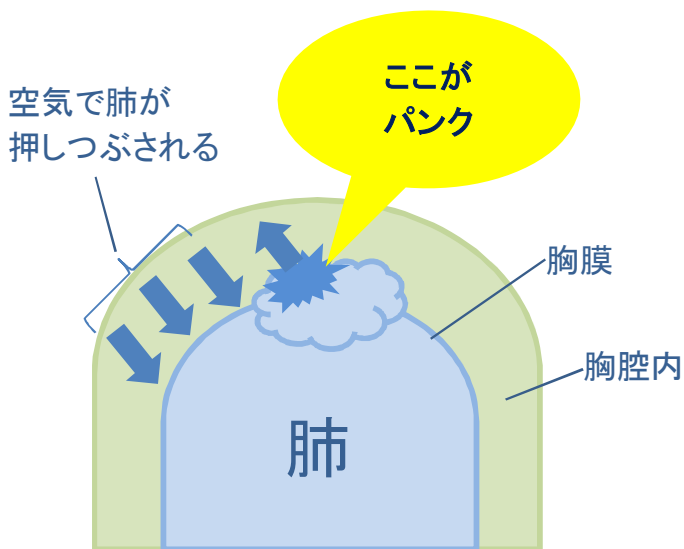
肺のパンクです。

肺全体を包んでいる胸膜に風船状の病巣が出来て、そこがパンクすることによって起きます。

パンクにより肺の周りに空気が入り肺は萎んだ状態になります。

この状態を気胸と呼びます。

症状としては、突然の胸痛、咳、呼吸困難などが起こります。



## 現状は？

細身の若い男性に多い病気です。原因はまだはっきりわかっていませんが、喫煙との関係は強いようです。もちろん女性もかかることはあります。

治療としては肺の萎んだ程度により、安静だけで自然に治る場合もあれば、胸に貯まった空気を抜く治療を行うこともあります。手術が必要になる場合があります。

## 当院での手術適応要件

- ①発病を繰り返す場合
- ②左右両方発病している場合
- ③空気漏れが止まらない場合
- ④気圧変動により気胸が発症する恐れがある職業（パイロット、ダイバー等の方）

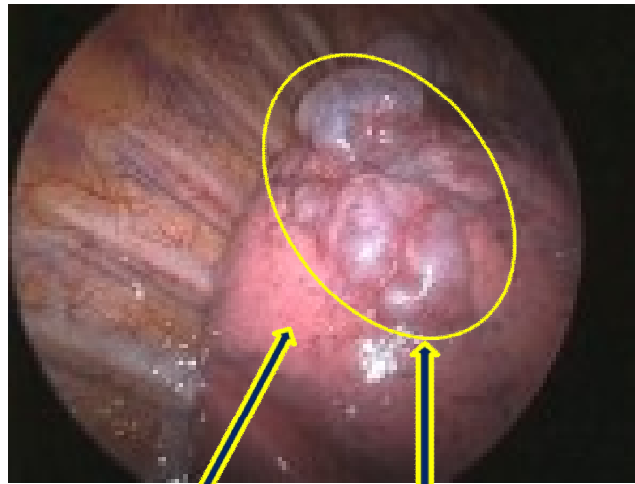


## 最新の手術法は？

以前は胸を大きく開いて手術（開胸術）を行っていましたが、最近では胸腔鏡を使った手術（胸腔鏡下手術）が主流です。

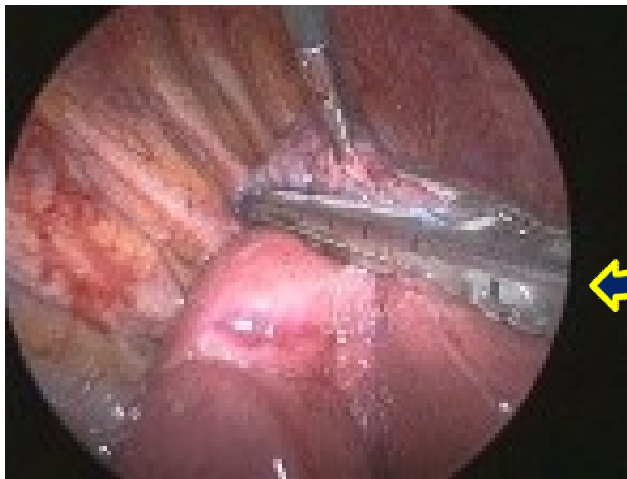
胸腔鏡下手術は全身麻酔で行います。胸に1cm程度の皮切を3ヶ所加え、そこから胸腔鏡（カメラ）、肺を持つ道具、肺を切る道具を入れて風船状の病巣を取り残すことなく切除します。

胸腔鏡（カメラ）で撮影した胸腔内



肺

病巣



肺を切る道具

← 手術（胸腔鏡下手術）中の画像  
病巣をつまみながら切除しています。

## 胸腔鏡下手術の利点は？

- ① 創が小さい
  - ② 術後の痛みが格段少なくなった
  - ③ 傷跡が目立たない
  - ④ 社会復帰が早くなった（一週間程度で退院）。
- 胸腔鏡下手術は今後さらに発展していく手術とされます。

突然の胸痛、咳、呼吸困難等を認め  
た方は**早急に受診して下さい**、  
また症状は無いのに胸部レントゲン  
検査で発見される肺の病気もあります  
ので、定期的な健康診断を受けま  
しょう。



↑ 切り取られた病巣 ↓

